学校経営目標　SHINPO力を発揮し未来を切り拓く生徒の育成

夢咲き

学校長通信（学校長発行）
2024年度7月号（No．4）
宮古島市立平良中学校

PARISオリンピックに学ぶ「努力する夏休みに向けて」

４月９日に始まった令和６年度１学期も、今日の終業式を迎えることとなりました。～省略～
それでは、夏休みに向けてお話をします。夏休みは、やはり自分で使える時間がかなりあります。これまでできなかった苦手なことへの挑戦ができる、あるいは、結果を出したい伸ばしたいことに向けてどれだけでも努力ができます。ですが、逆に、どれだけでも怠けられますし、どれだけでも遊ぶことができるものです。皆さんはどう過ごしますか？この夏休み中、皆さんには、近い将来の「目標達成」に向けて「努力」をし続けてほしいと考えます。では「努力する夏休み」に向けて、今、話題となっていることからお話しします。

７月２６日に開幕するパリオリンピックです。日本からもたくさんの競技・種目に出場しますが、皆さんはどの競技が一番楽しみですか。また、応援したい選手はどの選手でしょうか。

校長先生が最も応援したいと思う選手は、競泳女子の池江璃花子選手です。
池江選手は、３歳で水泳を始め、５歳で４つの泳法すべてをマスターし、中学1年ではジュニア大会で大活躍、次々と中学記録を更新し、そして、高校１年生で出場したリオオリンピックでは日本人選手最多の７種目への出場を果たし、100mバタフライでは５位入賞をするなど大活躍していました。
しかし、次の東京オリンピックでの活躍が大きく期待される中、2019年2月 体調不良により遠征先から帰国、何と「白血病」と診断されました。「白血病」は血液のガンとも呼ばれ、その闘病生活は、薬の副作用からとても苦しいものとなりました。

約１年にも及ぶ苦しい闘病生活を経て退院し練習を再開します。練習を再開したときには、自分の体を見て絶望的になることもあったとのことです。ですが、徐々に気持ちを切り替え、そして、2020年の８月、何と594日ぶりに大会出場を果たし、翌年には、４戦目で表彰台に上がることもできました。そして、努力に努力を重ね、東京オリンピックでは、リレー種目で出場、そして、今回のパリオリンピックでは、退院後、目標としてきた個人種目「100mバタフライ」での出場が決まっています。壮絶な闘病生活を乗り越え、目標を達成を目指す池江選手は次のような言葉とともにパリオリンピックに挑みます。

「努力は必ずしも報われるものではない。だけどその努力が報われるまで努力し続ける」　池江璃花子

３８日間の夏休み、「努力する夏休み」にするためには、自分の強い意志と判断で行動する進歩「主体性」を発揮できるかどうかにかかっています。その「主体性」を発揮して「努力する夏休み」にしてくれることを期待し終業式の式辞とします。２学期、また、元気で会いしましょう。　～令和６年度第１学期終業式　式辞より～

地域の外部人材を活用した教育実践！

今学期、多数の講師の先生方に大変お世話になりました。
３学年の「出前高校説明会」２学年の「職業講話」１学年の「宮古島を探ろう」では、進路や総合的な学習の時間のテーマに沿った学びを各講師の先生方から提供していただきました。また、全校生徒対象のサイバー犯罪防止講話では、ＳＮＳ等のトラブル回避についてその手段を学び、思春期講話では、性に関する正しい情報を獲得してもらうため、学校医の先生から丁寧な説明を受けました。ご対応に深く感謝いたします。

魅力ある学校づくりに向けて

７月10日　本校では、今年度より、保護者と地域関係者の皆様に教育活動（授業等）の様子を参観していただくため、一日授業参観の日「オープンスクール」を開催することにしました。第１回目のこの日は、特に１校時の授業とお昼前後の授業参観に多数の保護者が来校されました。授業公開をすることで、子ども達の頑張りも課題も共有し学校理解を深めていただくことをねらいとしています。２学期にも予定していますのでぜひご参観いただきますようお願いたします。

保護者・地域にとって「魅力ある学校」とは
☆子供達に活躍の場がある　☆信頼され、地域と共にある　☆保護者・地域が気軽に足を運べる